



理科室より

東小の草花①

今の季節は、生活科や3年生の理科で、春さがしを楽しむ時期。今年（ことし）はみんなで（おこな）
 はできないけれど、健康（けんこう）のための（さんぽ）お散歩（にわ）や庭（うんどう）で運動（きせつ）をするときに、この季節（きせつ）ならではのかわい
 らしい花（はな）やおもしろい（すがた）姿（しよくぶつ）をした植物（しょくぶつ）をさがしてみてください。

<タンポポ>

おそらくは海外（かいがい）から日本中（にほんじゅう）に広（ひろ）がったセイヨウタンポポ。ただ、東小（ひがししょう）ではカントウタンポポを見つけた（みつけた）こともあります。

ロゼッタ（じめん）という、地面（じめん）にはりつく（よう）様な（すがた）姿（ふゆ）で冬（ふゆ）を耐（た）え、花（はな）が咲（き）き始め（はじ）ました。これからクキ（くき）ものび、もつと目（め）立（た）つよう（よう）になりますね。



<ヒメオドリコソウ>

東小（ひがししょう）の中庭（なかま）で、一番（いちばん）多く（おおく）みられる（みられる）シソ科（しそ）の花（はな）。日（ひ）なたではかわいらしい（かわいらしい）サイズ（サイズ）ですが、日（ひ）かげに生（な）えている（な）ものはやたら（おおく）と大き（おお）く色（いろ）も少し（すこ）不気味（ぶきみ）な感（かん）じ…。

日本（にほん）や中国（ちゆうごく）に元（もと）からあつた（あつた）「オドリコソウ」の仲間（なかま）で、こちら（こちら）も海外（かいがい）から日本中（にほんじゅう）に広（ひろ）がりました。



<オオイヌノフグリ>

ありふれていて、いつでも、どこにでもさいている（さいている）イメージ（イメージ）の青（あお）い花（はな）。ただ、春（はる）が終（おわ）わるとパタツ（か）と枯（か）れてしま（な）い、実（じつ）は見る（みる）ことのできる（できる）時期（じき）がとて（と）も短（みじか）い花（はな）です。

仲間（なかま）には花（はな）びらの先（さき）がとが（と）がっている（とが）「タイヌノフグリ」などもあ（あ）るので探（た）して（た）くらべて（くら）べると面白（おもしろ）いですね。



この3つのうち、私は2つ食べたことがあります。味は…苦かったりモニュモニュしたり…。
 おいしい調理法（ちゆりほう）もあるのでしょ（し）ょうか？